

平成 30 年度 学校自己評価システムシート（山村国際高等学校）

本年度努力目標	1	学習指導においては、基礎・基本の徹底を図るとともに、応用力の育成に努める。
	2	進路指導においては、一人ひとりの進路に応じた適切な指導と、自己理解に向けた支援に努め、進路実現に努める。
	3	生徒指導においては、基本的生活習慣の確立に努めるとともに、自他を尊重する寛容と協力の精神の育成に努める。

達成度	A	ほぼ達成（8割以上）
	B	おおむね達成（6割以上）
	C	変化の兆し（4割以上）
	D	不十分（4割未満）

※第三者評価実施日とは、最終回の第三者委員会を開催し、学校自己評価を踏まえて評価を受けた日とする。

出席者	第三者委員	5名
-----	-------	----

学校自己評価							
年度目標				年度評価（3月8日現在）			
番号	現状と課題	評価項目	具体的方策	方策の評価指標	評価項目の達成状況	達成度	次年度への課題と改善策
1	○基礎学力の不足は常態的課題である。その克服のためにも、まず「授業」にどう向きあうかを考えねばならない。	学習指導	○一時間一時間の授業に真摯に臨む姿勢を身に付けさせる為の工夫・研究を重ねる。 ○「わかる」ということの内実を充実させる。	○生徒の私語・居眠りは減り、前向きに授業に取り組む姿勢が窺えるか。 ○「わかる」ことが達成されたか。	以前に比べて授業中の私語はかなり減少しているが、一部の部活動加入者の居眠りが依然として見受けられる。	B	次年度は電子黒板とタブレットを導入して2年目となる。「思考力・判断力・表現力」が重視される新テストに対応すべく、今年度以上に電子黒板やタブレットを積極的に授業で活用し、新テストにも対応していかなければならない。
2	○教室環境を整え、生徒一人ひとりが協同してクラス作りに参加する自発性を養成することに努める。	学級経営	○一人ひとりの役割とその責任を意識づける。 ○他者を常に自己の指標とする協同性を身に付けさせる。	○教室は常に整頓されているか。 ○クラスの友人関係は良好か。 ○役割は責任をもって果たされたか。	学級経営自体には大きな問題は見られないが、一部の教室・施設において、清掃面での改善すべき箇所が見られた。	B	引き続き教室内の整理整頓に努め、学習環境を整えていかなければならない。また、清掃に関しては清掃監督の教員がしっかりと生徒を指導し、その役割の意識付けをしていかなければならない。
3	○基本的生活習慣の確立 ○公平・公正な視点からルールの遵守について身に付けさせねばならない。 ○保護者との協力	生徒指導	○あいさつ、遅刻および他を思いやる心、言葉づかいの指導を図る。 ○保護者との連携を密にし、しっかりと協力する。	○基本的生活習慣は身に付いたか。 ○保護者の理解を得た指導が行われたか。	SNS関連の指導が見られるようになってきたが、全体として、指導処置件数は減少している。	A	SNS関連のトラブルが起らないよう、外部講師による講話など、指導を充実させていく必要がある。また、今後もより多くの生徒が、しっかりとあいさつができるように指導を継続していかなければならない。
4	○目的を明確にし、自己の将来設計をしっかり考えさせる。 ○一人ひとりに懇切に接し進路実現に向けた。	進路指導	○的確な進路指導の充実。 ○一人ひとりの適性を見極め、指導することで個々の意識を明確にする。 ○数値目標の設定。	○生徒一人ひとりが自己の進路についてしっかり考えることができたか。 ○数値目標は達成できたか。	小論文対策や公務員試験対策講座など新たな取り組みを始めたことで、進路指導に対する満足度は上昇している。	B	大学入試センター試験が最終年となる中、特に3年生に関しては一般入試だけでなく、AO・推薦入試などあらゆる入試形態に対応し、現役合格できるようサポートしななければならぬ。
5	○すべての生徒が行事や部活動に積極的に参加するよう全体で取り組み、学校力の活性化を図る。	学校生活	○すべての生徒が協同して行事・部活動に参加できるように的確な指導を行う。 ○部活動の活性化と充実した成果をめざして指導する。	○生徒は積極的に行事や部活に参加したか。 ○部活動は充実した成果をあげることができたか。	生徒数が増えたことで、部活動にも活性化が見られるようになった。関東大会・県大会出場部活も増えている。	A	戸宮グラウンドの取得など、部活動を行う環境整備は進んでいる。今後もより多くの生徒が学校行事に積極的に参加し、学校生活を楽しめるようバックアップしていかなければならない。

第三者評価	
実施日 平成30年 3月18日	
第三者委員からの意見・要望等	評価
授業中の居眠りが全くなくなることは難しいが、私語も含め、以前に比べて減少していることは良い傾向である。	A
この数年、学級経営に対する生徒の満足度は非常に高くなっているようだ。清掃に関しては継続して、指導をお願いしたい。	A
遅刻者がほとんど見られなくなったことなどから、基本的生活習慣が身に付いてきていることがわかる。校則に関して保護者・生徒が一定の理解を示しており、指導処置件数が減っているのは良いことである。	A
アンケートによると、進路指導に対する満足度は上昇しているが、依然として他の項目に比べると低い結果となっている。これは保護者・生徒の進路に対する意識が高くなっていることの表れだろうか。	B
部活動だけでなく、体育祭や文化祭など、学校行事に積極的に取り組む生徒が増えているようだ。学校生活全般で満足度が高いことはすばらしいことだ。	A